



デジタル技術×人材育成

株式会社サガンベジ

2010年より農薬、化学肥料、除草剤等、化学物質を一切使用しない栽培方法で有機農産物「サガンベジ」を生産販売し、「安全で高品質の有機野菜を安定供給」をモットーに事業を展開している。新たな圃場が稼働するのに伴い、情報の管理と人的リソースに課題を感じていた。2カ所それぞれの収穫量などをITツールでリアルタイムに管理し、組織全体でデジタル人材になる事を目指した。

なぜDXに取り組んだのか

日々の業務が私に集中していて、現場作業も私が入って指示を出すみたいなのが多いんですけどね。そこら辺のなんて言うか、組織・体制作りという部分とリーダーとなる右腕を作っていくみたいなのもやっていく為に、デジタルツールを活用しないと解決しないと思っています。デジタルを活用して、業務を効率化することで時間が生まれるので、その人材教育を行う為にも、DXが必要なんじゃないかと思っていますね。

—— **DXの目的とは？** ——
本事業に参加した経緯
デジタル技術の活用を考えていたんです。受注から、納品書を作り、請求書を出すところ、栽培の方でも記録管理が存在していて、エクセルとかが何個もあって、それを一つに出来ないかというところが悩んでいました。現状の把握も日々の業務が忙しくて、なかなか出来ない状態でしたので、専門の方にアドバイスを頂けるといいう事で事業に応募しました。

煩雑な作業の簡素化で
業務バランスを整える



代表取締役
園田 幸男
そのだ ゆきお



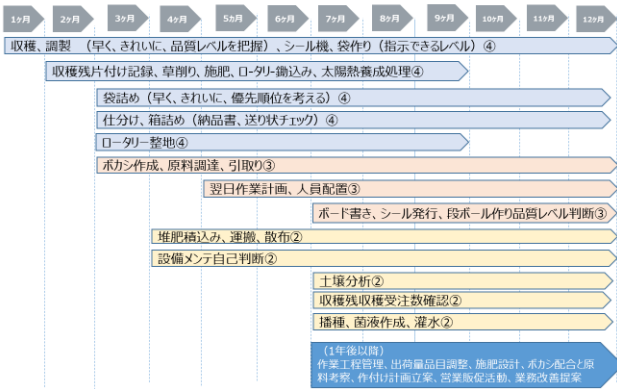
—— これまでの取り組み内容を教えてください。 ——
2、3年前から煩雑な情報管理に課題を感じていて、システムの導入を検討していました。佐賀県産業スマート化センターにも相談をして、これまでに10社近くツール提供業者さんとも面談しましたが、具体的に何かを導入するなどには至っていませんでした。業務で使うシステムが多くなりすぎるのも嫌でしたし、分かりやすく扱いたい物がよかったです。大がかりな物というよりは、クラウド上で操作が出来るツールだといいなというイメージはできました。新たに圃場も2022年の夏から開いたので、場所にとらわれずにどこからでもデータが入力できる体制を作りたいと思っていました。

鳥栖市



人材教育スケジュール

研修カリキュラム（年間スケジュール）



サガンベジ®

-MADE IN 100% SAGA-



支援を通して良かった点と苦
 労した点を教えてください。
 良かった点としては、約半年間
 の支援で、それこそ業務フローを
 洗い出して、業務の棚卸を行うこ
 とが出来ました。社内の体制自体
 も、まだ完璧にできたわけではな
 いんですけど、ある程度の形にす
 る事が、伴走頂いてできました。
 社員に共有する資料もできて、進
 め方の形もできて、教育・育成の
 マニュアルもできていて、研修ス
 ケジュールもできていて、育成の
 それを見せながら育成して行く
 みたいなところなんです。次進んでい
 くステップの礎をこの事業内で作り
 上げる事ができて良かったと思っ
 ています。苦労した点としては、
 特にはないですね。私も社員もス
 マートフォンやパソコンなどを
 日々の生活で使っているの、特
 に抵抗やストレスもなく進める事

ができました。不安な点としては、
 これまでとは違う運用になり、や
 り方も変えることになるので、実
 際の運用が始まったあとに社員み
 んがスムーズに移行ができるか
 などということですね。
 キントーンを導入した経緯と
 期待する効果を教えてください。
 煩雑な作業を簡素化するという
 点でいうと沢山のツールがありま
 すが、その業者さんだけじゃでき
 ないようなシステムになってしま
 うと、コストや時間が余計に掛
 かっていくみたいなのもあつ
 たりすると思うんですけど、また
 業者さんの付きつきりになってし
 まうのも、修正したい時などの選
 択肢が狭くなってしまふので、ど
 こに頼んでも見てもらえるよう
 な汎用性の高いやつを入れたいと
 思っていました。そこで辿り着い
 たのが、キントーンです。キント

ーンであれば、その中でアプリ
 ケーションを作ることができま
 すし、ある程度なんでもできる
 うか、やりたい事が集約される
 ので管理も楽になると思ってい
 ます。また、導入した後からでも、いつ
 でも修正・手直しが出来るところ
 が良いと感じています。期待する
 効果としては、全体的に見た作業
 の効率化ですね。これまでは、圃
 場と事務所で記録書に各自が入
 力していたんですけど、それを現
 場でその都度、二カ所に分かれて
 いるんですけど、クラウドなので
 入力できるという場所に限定され
 ない事も魅力です。社員もある程
 度環境が整備されれば、これまで
 の業務が簡素化されますので、働
 きやすくなると思っています。一
 旦は、導入する会社さんに見ても
 らいながら活用する支援をして貰う

株式会社サガンベジが思い描く未来とは？

予定なのですが、将来的には、自
 分でも使いこなして、いろんな細
 かい修正もおこなえるようになり
 たいと思っています。
 今後の展望
 社内の体制を作る事ができて、
 デジタルツールも導入の部分まで
 いく事が出来ました。これまで、手
 紙などの書類が本場に多くて、手
 書きのやつを全部パソコンで後か
 ら入力して行くみたいなの、その二
 重の作業が非常に多かったんです。
 今後は、キントーンを活用しなが
 ら、ペーパーレスも同時に進め
 ながら、DXのみならず、GXの観点から
 進めて行きたいなと思っていま
 す。同時に進める事ができれば、
 ある意味対外的にもアピールポイ
 ントになりますし、魅力のある会
 社にもなるんじゃないかなと思っ
 ています。ここからは、導入する
 キントーンを使い込んでいきなが
 ら、業務の効率化を図ってい
 たいです。フェーズに移っていく
 と思います。社内の体制もできて、作
 業の効率も上がっていったら、作
 業の効率も上がります。それに合
 わせて、売り上げも、もっと上げて
 いきたいなと思っています。それ
 ができた時に、私の時間も作る
 ことができれば、社長業という
 ことができていくべきだと思っ
 ています。その後は、資材の方で
 不安定な部分もあるので、肥料と
 か原料を自分たちで調達できるよ
 うな態勢にできたらと考えていま
 す。その結果として、安定した供
 給をやっていききたいなという風
 に思い描いています。時期として
 は、これから3年から5年の
 間にはしたいなと思っています。